

つくば市記者会 御中

発信日：令和2年（2020年）3月12日（木）

発信元：つくば市政策イノベーション部企画経営課

■取材依頼 □周知依頼 □募集告知 □その他

第2期つくば市戦略プラン(案)の 答申・報告会を開催します



つくば市の長期的なまちづくりの指針を示す「つくば市未来構想」とその実現のための施策・戦略を示す「つくば市戦略プラン」について、2018年度から2年間かけて改定・策定を行っています。第11回つくば市未来構想等審議会（3月6日（金））において「第2期つくば市戦略プラン（案）」の最終案が承認されたことを受け、以下の日時に審議会委員（会長・委員10名程度）から市長への答申が行われますのでお知らせします。

なお、「つくば市未来構想（改定案）」は、第10回審議会（1月29日（水））後に先行して答申を行っておりますが、当日は両案について説明・質疑応答を行う予定です。

日時：3月17日（火）11:30~12:00（予定）

場所：つくば市役所5階 庁議室

内容：市長挨拶（3分）
つくば市未来構想改定案・第2期つくば市
戦略プラン案の概要説明（7分）
答申・写真撮影（5分）
質疑応答（市長・副市長・審議会委員・
事務局が対応します）（15分）



1/29(水)未来構想(案)の答申の様子
(毛塚副市長が代理対応)

※ 未来構想・戦略プランとは

「つくば市未来構想」は市の全ての分野のまちづくりの指針となる構想で、かつては「総合計画」と言われていました。まちづくり百年の計の思想に基づき、研究学園都市のこれまでの50年の歩みを踏まえ、今後のまちづくりの指針を示すものとして、計画期間を21世紀半ば（2050年）として2015年に策定しました。

「つくば市戦略プラン」は、同年に策定された未来構想を実現するための各種施策・戦略を示す5年間の計画で、令和元年度で計画期間が終了するものです。

未来構想・戦略プラン改定の概要と策定経過

改定前：現未来構想・現戦略プラン、 改定後：改定未来構想・第2期戦略プラン
--

1 現未来構想・現戦略プラン策定の経緯

「つくば市未来構想」は「第3次つくば市総合計画（平成17～26年度）」の後継であり、旧総合計画の基本構想に当たる構想として平成27年（2015年）度に策定された。まちづくり百年の計の思想に基づき、研究学園都市のこれまでの50年の歩みを踏まえ、今後の50年のまちづくりの指針として計画期間を21世紀半ば（2050年）とし、未来の都市像の実現に向けて4つの『まちづくりの理念』を策定し、それに基づく各種施策として「つくば市戦略プラン」を策定している。

2 改定未来構想（案）・第2期戦略プラン（案）の概要

（1）背景・目的 ※改定未来構想（案）P5参照

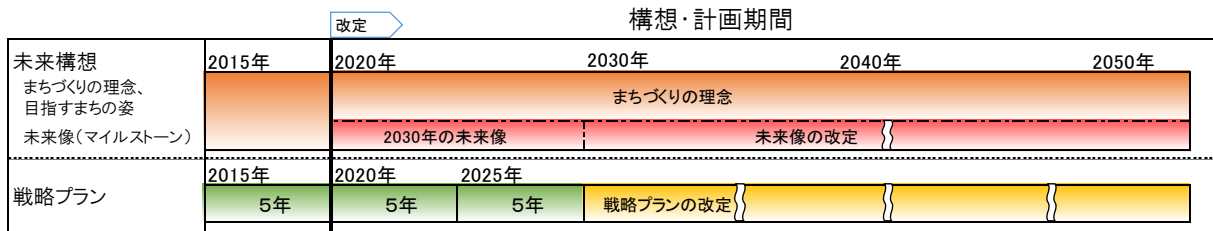
- ・現在のつくば市では、まち・ひと・しごと創生への対応、中心市街地の活力低下など様々な課題が山積している。また、Society5.0と呼ばれる新たな社会像が国によって示されるとともに、2015年9月に国連総会において「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択され、SDGsとして「誰一人取り残さない」という包摂的な理念の下、持続可能な開発のための様々な取組が世界共通で進められている。
- ・そのような社会・経済等の情勢変化に的確に対応し、諸課題を克服しながら次の世代に継承・発展させていく「持続可能都市」を目指し、現未来構想の改定を行った。
- ・社会情勢や技術革新が目まぐるしく変化する時代において、望ましい未来像の創造のため、つくば市の生産年齢人口のピークと推計され、またSDGsの目標達成年とされている2030年をマイルストーンとして新たに設定し、未来像の実現に向けてバックキャストの手法を取り入れた構想・戦略を作成した。

（2）改定・策定のポイント ※改定未来構想（案）P5参照

- ・新規事業の立案や判断に迷ったときに、「未来構想・戦略プランを見れば進むべき方向が分かる」といった羅針盤的な役割を持つ。
- ・新たなまちづくりの理念、目指すまちの姿・2030年の未来像等を策定し、その実現を目指した各種施策を分野横断的に取組むため、基本方針・個別施策を定めた第2期戦略プラン（案）を策定。
- ・具体的な事業については、各担当部署が作成する個別計画にて実施。

（3）構成・期間 ※改定未来構想（案）P6参照

- ・改定未来構想（案）の計画期間は現構想を受け継ぎ、21世紀半ばとする。
- ・第2期戦略プラン（案）の計画期間は2020年度から2024年度（5年間）までとする。



(4) その他

- ・ 総花的ではなく、地域の強みをいかし、社会構造の変化や時代にニーズに合致した戦略的な取組とする。
- ・ 実効性の高いものとし、市政運営の教科書となるものを目指す。
- ・ つくば市未来構想、まち・ひと・しごと創生総合戦略と整合を取り、地方創生のコンセプトを取り入れる。

3 改定・策定過程の特色・特徴

(1) 審議会への市民公募委員の参画や民間アイデアの活用

未来構想等審議会に参画する公募市民委員を増員（3名→7名）するとともに、民間の知見や経験を活用するため、プロポーザル方式により策定支援委託事業者を選定し、市民や民間のアイデアを積極的に活用した。

(2) 若手職員等のワーキングチーム結成により議論の活性化

現構想策定の際にも、役職に応じた検討組織を作り、ボトムアップによる策定体制としていたが、議論が活性化しにくい環境にあった。そこで、2030年につくば市政の中心的な役割を担う世代の職員を中心にワーキングチームを結成し、職員ワーキングチームが中心となって原案を作成した。

(3) 連続した市民ワークショップ・キャラバンの実施による市民意見の聴取

従来のタウンミーティングや改定未来構想（案）策定のための市民・中高大学生アンケート実施に加え、2018年度には、市民が連続して参加し、未来像を考え提案する市民ワークショップを開催した。2019年度には、市内各所において様々な属性を対象として、特定の未来像・施策の実現について検討するキャラバンを開催し、市民がともにつくば市の未来について考え、提案できる仕組みとした。

4 改定・策定の主な経過 ※改定未来構想（案）P45 参照

平成30年(2018年)5月	庁内策定組織の立ち上げ
8月	第1回未来構想等審議会開催・諮問
10月～12月	市民ワークショップ開催、市民・中高大学生アンケート実施
令和元年(2019年)5月	議会全員協議会で未来構想改中間取りまとめ案の報告
6月～10月	未来構想キャラバン開催
令和2年(2020年)1月	つくば市未来構想改定（案）答申
3月	第11回未来構想等審議会（最終）の開催
3月	第2期つくば市戦略プラン（案）答申（本日）